

# シリーズ 三郷学

## 〈三郷学の視点②〉

### 三郷学の視点

#### 2. 変化を見る（3区分人口の変化と政策）

平成24年6月1日現在の三郷市の人口は、133,494人です。この数字は、平成8年に入ったころの人口に近い数字です。しかし、当時と今とでは人口の構成割合に大きな違いがあります。平成2年の国勢調査での年齢3区分別人口を見ると、年少人口（0歳～14歳以下）が約22%、生産年齢人口（15歳以上～65歳未満）約73%、老年人口（65歳以上）約5%であったのに対して、平成22年度の国勢調査（確報）では、年少人口が約13%、生産年齢人口が約67%、老年人口が約20%となっています。

このように、三郷市の人口は、3区分の均等化に向かう傾向にあり、このことに対応した政策〈まちづくり〉が必要となります。

平成24年5月22日に開所記念式典が行われた「ほっとサロン・いきいき」（平成24年3月26日プレオープン）は、市の3区分人口の均等化に対応するためみさと団地のセンターモール商店街にあった空店舗を三郷市が借り受け設置したものです。この施設には、地域で暮らすお年寄りなどが気軽に立ち寄ってお茶を飲みながら談話できる「ふれあい交流コーナー」、小規模なイベントや運営関係者の会議などができる「会議・イベントコーナー」が設けられています。すでに「ふれあい交流コーナー」では、地域の方々が立ち寄って、いろいろな交流がはじまっており、地域力の向上が期待されています。



除幕式が行われました